



# 対話で深めるビジネスのキーワード

～今回のキーワード「GDP（国内総生産）」～

城西大学経営学部客員教授 国士舘大学経営学部非常勤講師

粕谷 和生



登場人物



## 1. 景気がいい？景気が悪い？



：株価が上がっているときは、景気がいいって言う人が多いけど、昨年末の31年ぶりの高値のときは、景気がいいなんて誰も言わなかった。



：それはそうだよ。新型コロナウイルスの第三波で、GO TO トラベルの停止や時短営業の要請、外出自粛など経済活動が押さえられたから。



：ということは、株価が上がっても景気がいいとは限らない。逆に悪いこともあるってこと？



：そういうことになる。株価と景気は、直接的には関係ないかもしれない。



：そうだとしたら景気って一体何？ 気分や雰囲気などと同じ「気」という字がつくから個人的な感覚？



：そんな曖昧なものではないと思う。だって、新聞の見出しにもよく使われる用語だから。



：そうだよね。そういえばボクの兄さんが、大学のレポートで内閣府の景気動向調査なんとかを調べるって言っていた。景気は感覚的なものではなく、ちゃんと意味があると思う。



：なるほど、景気って経済全体の話っていうことだね。



：もっと教えてもらいたかったけど、経済学のテストがあるからって大学に行っちゃった。でも、「**経済全体の活動水準を示す代表的な指標はGDP（国内総生産）**」だから、景気の意味を知りたかったらGDPを調べるといい」ってアドバイスをもらった。



：それで昨日、メールをくれたわけだね。君に言われたとおりGDPについて調べてきたよ。現代社会の教科書『高校現代社会 新訂版』（実教出版）201ページには、「日本のGDPとは、日本国内で1年間に新しく生み出された財・サービスの総量のことである。ただし、①二重計算を避けるために、原材料（中間生産物）の総額を差し引いてある。それゆえGDPとは、日本国内で1年間に新しく生み出された②**付加価値**＝**所得の総額**であるともいえる。」って書いてある。



：ボクは商業の教科書『ビジネス経済』（実教出版）で調べてきた。78ページには、「GDPは一国内で一定期間中に生み出された**付加価値**の合計であると定義されている。付加価値とは、生産額からその生産に必要なとなった中間生産物の価値（中間費用）を差し引いたものである。すべての生産者が生み出した付加価値の合計は、③その期間中に生み出された最終生産物の生産額に相当する。」って書いてある。

## 2. 教科書に書いてあるGDPの意味



：兄さんに景気のことを聞いたら、景気って経済全体の活動水準のことをさすって教えてくれた。たとえば、経済全体の活動水準が高いときは「景気がいい」と言って、低いときは「景気が悪い」と言うらしい。

 : ちょっと難しいね。でも、二つの教科書で共通して太字になっているのは、「付加価値」だね。

 : 「付加価値」の意味が重要みたいだ。

 : それでは、教科書を持って先生のところに行ってみよう。

### 3. ビジネス基礎で学んだ「もの与服务」

 : 先生！教科書にはGDPについてこのように書かれていますが、モヤモヤしています。

 : 特に「付加価値」という用語の意味が難しいです。

 : それでは、私の問いに答える形で一緒に考えてみましょう。まず、GDPの計算対象は何ですか？

あるいは、GDPにカウントされるものと言い換えてもよいかもしれません。

 : 現代社会の教科書にある「国内で1年間に新しく生み出された財・サービス」ですか？

 : そうです。財というのは経済学上の用語で、あまり聞いたことがないと思いますが、ビジネス基礎の「ものの生産者」のところで学んだ「もの」のことです。サービスは人が働くことによって生み出される無形の商品でしたね。ただし、無料の場合はGDPにカウントされません。

 : ビジネス基礎の教科書に「サービスの生産者」というタイトルがあった理由がやっとわかった。サービスなら「生産ではなく提供だろ」とずっと考えていたのですが、GDPは国内総生産だから、サービスの生産という言い方もフィットするのですね。

 : 昨日、話題になった株式は、生産される財(もの)・サービスではないからGDPにカウントされない。

 : だからどんなに株価が上がってもGDPは増えない。

 : ということは、土地が値上がりしてもGDPは増えない。土地は昔から日本国内

に存在するから新たに生み出された財ではないし、もちろんサービスでもない。

 : もの与服务の生産だけがGDPにカウントされるわけですね。

 : ものの生産与服务の生産で循環する経済を実体経済と言います。

### 4. 付加価値の簿記的な意味

 : GDPの理解を難しくしているのは、「付加価値」という用語ですね。でも、二人は簿記を学んでいるから、付加価値については、すぐに理解できます。

 : はい、ボクは簿記検定3級を持っています。

 : 先生、簿記のどの部分が役に立つのですか？

 : 損益計算書を思い浮かべてください。売上高から売上原価を差し引いたら何が計算できますか？

 : 売上総利益です。

 : 粗利とも言います。

 : さすがです。簿記をしっかり学んでいますね。今、答えてくれた売上総利益(粗利)が付加価値です。

**付加価値=売上総利益(粗利)**というポイントを押さえて、次の【例】から付加価値を計算してみましょう。

【例】小麦農家のAは、100万円の小麦を生産し、それを製粉業者のBに販売した。Bはその小麦を製粉して製パン業者Cに150万円で販売した。Cはその製粉からパンを製造して消費者のDに230万円で販売した。

- ① (小麦農家)  
↓ 100万円
- ② (製粉業者)  
↓ 150万円
- ③ (製パン業者)  
↓ 230万円
- ④ (消費者)

 : 小麦農家 A が新たに生産した小麦は 100 万円です。小麦の種子代などは、なかったものとする A が生み出した付加価値は 100 万円です。それでは、B と C が新たに生み出した付加価値はいくらですか？

 : B は 150 万円 で C に売ったから売上高は 150 万円、その売上原価は A から仕入れた小麦 100 万円だから、売上総利益は 50 万円 (= 150 万円 - 100 万円)。よって付加価値は 50 万円。

 : C は 230 万円 で D に売ったから売上高は 230 万円、その売上原価は B から仕入れた製粉 (小麦粉) 150 万円だから、売上総利益は 80 万円 (= 230 万円 - 150 万円)。よって付加価値は 80 万円。

 : 付加価値の合計は、いくらになりますか？

 : A が生み出した付加価値 100 万円 + B が生み出した付加価値 50 万円 + C が生み出した付加価値 80 万円 = 230 万円です。この 230 万円が GDP です。

 : そのとおり。これで GDP の計算はわかりましたね。教科書で最初はわからなかったことも理解できるようになっているはずです。教科書の下線①～③の部分についてみましょう。

## 5. 教科書の下線の意味

① 二重計算を避けるために、原材料 (中間生産物) の総額を差し引いてある。 (高校現代社会 新訂版 201 ページ)

 : 下線①の「中間生産物」とは何か、わかりますか？ さきほどの【例】に出てきた B (製粉業者) と C (製パン業者) に当てはめて考えてみてください。

 : B は A から小麦を買い、それを小麦粉に加工して C に売ったから、B における中間生産物は小麦です。

 : C は B から小麦粉を買い、それをパンに加工して D に売ったから、中間生産物は小麦粉です。

 : さきほどの【例】では、それぞれの中間生産物は売上原価として差し引きました。

② 付加価値 = 所得の総額であるともいえる。 (高校現代社会 新訂版 201 ページ)

 : 次に下線②の付加価値が「所得」とイコールという意味は、わかりますか？ これも【例】に当てはめてみましょう。ただし、「所得」という語は、いろいろな意味があって難しいので、ここではザックリと「財やサービスの生産によって得た儲け」という意味にとらえてください。

 : A は小麦を生産して B に売り、その代金 100 万円を得たから A の所得は 100 万円。これは付加価値と同額。B は A から買った小麦を製粉して C に売り、その代金 150 万円を得たから B の所得は 150 万円。

 : でも、さっきの計算では B が生み出した付加価値は 50 万円だったよ。

 : 先生、B が受け取った小麦粉の代金 150 万円は B の所得ではないのですか？

 : B が受け取った 150 万円は、収入金額であって所得ではありません。B はもともと 100 万円持っていて、それを元手に小麦を買い、B が自ら加工して (付加価値をつけて) 小麦粉を作り、それを 150 万円で売りました。したがって、B の儲けは 50 万円です、これが所得です。

 : これまでの話を整理すると、GDP は付加価値の合計であると同時に所得の合計でもあるということですね。

 : GDP の増加率のことを経済成長率と言います。経済成長率が高いということは国民の所得の増加率も大きいということで、「景気」がいい状態です。したがって、所得が大きいということは経済的に豊かであるということになります。残念ながら 2020 年度の日本の経済成長率は 4.8% のマイナスになってしまいました。

 : ということは、日本国内に住む私たちの所得は減ったってこと…。

③その期間中に生み出された最終生産物の生産額に相当する。(ビジネス経済 78 ページ)



: これは、もうわかりましたね。



: はい。【例】で説明すると最終生産物はパンです。その価額は230万円でした。この230万円は、A・B・Cそれぞれが生み出した付加価値の合計額230万円(=100万円+50万円+80万円)に一致しています。



: ということは、GDPは最終生産物の価額を基に計算できるのですね。



: そうだね、消費を増やすためには、その前に所得の増加が必要なもの。



: 所得の源泉であるGDPは、2020年度はマイナス。よって所得もマイナス。だから個人消費もマイナス。



: 経済の先行きが見通せないから、住宅の購入は減少するし、企業はものやサービスが売れないから設備投資もしない。新型コロナの感染は全世界に広がっているから輸出も伸びない。



: 今は、政府が頑張っています。政府支出を増やしてGDPの落ち込みを食い止めようとしています。

6. 新聞記事を理解するために



: 新聞などで「個人消費」が落ち込んだからGDPがどうこうって書いてありますが、あれはなんですか？



: GDPの記事には必ず出てきますね。生産した財・サービスは買ってもらわないと(支出してもらわないと)GDPにカウントされません。そこでGDPを支出の側(需要面)から見て、その時点の経済全体の活動状況を判断することがよく行われます。政府の統計では難しい用語が使われていますが、ここでは新聞記事に出てくる語を使ってGDPを簡単な式で表してみます。

$$\text{GDP} = \text{個人消費} + \text{住宅・設備投資} \\ + \text{政府支出} + \text{純輸出}$$

個人消費は家計の支出です。住宅・設備投資は住宅建設や工場建設、新機械や新しい設備の導入のための支出です。政府支出は公共投資や公務員の給料、社会保障費などです。純輸出は輸出額から輸入額を控除した額です。



: これはわかりやすい。GDPを増やすためには(経済成長するためには)、右辺の各項目を増やせばいいってことですね。ボクにすぐできることは、個人消費を増やすことかな。



: それはそうだけど、そんなに簡単にできないよ。